

学 年

3年

かけ算 (2) ①

年 組 氏名

- 1 (1) 次の計算をしましょう。

$$23 \times 3 =$$

(ひっ算)

×		
<hr/>		

- (2) この計算を、たかしくんは筆算をかかなくてもとくことができたそうです。

たかしくんの説明の、続きを考えましょう。

ぼくは、23 を 20 と 3 に分けました。

それから、

合わせて、69 になります。

- (3) 23×3 の計算になるような、問題をつくりましょう。

--

学 年

3年

かけ算 (2) ①

1 (1) 次の計算をしましょう。

$$23 \times 3 = 69$$

	2	3
×		3
	6	9

20 に 3 をかけて、60。

3 に 3 をかけて、9。

20×3、3×3の
どちらからけいさん
しても、できますね。

(2) この計算を、たかしくんは筆算をかかなくてもとくことができたそうです。

たかしくんの説明の、続きを考えましょう。

ぼくは、23 を 20 と 3 に分けました。

それから、20 に 3 をかけて、60。

どちらをさきにかんがえても、いいね。

3 に 3 をかけて、9。

60 と 9 を合わせて、69 になります。

ということは、
あん算でもでき
るはずだね。

(3) 23×3 の計算になるような、問題をつくりましょう。

[ポイント]

何個や何ふくろ、何さら
など。

23 のものが、3 つ分。

「1 つ 23 円」や「1 ふくろ 23
個入り」など

(れい)

1 ふくろに、23 個のアメが入っています。そのふくろが 3 ふくろあります。

ぜんぶで、アメは何個でしょう。

学 年

3 年

かけ算 (2) ②

年 組 氏名

- 1 (1) かけ算①のプリントの問題ように、繰り上がりのない計算になる問題は、次のうちどれでしょう。当てはまる計算の番号をすべて () の中に書きましょう。

① 21×4

② 34×3

③ 14×2

④ 15×2

⑤ 41×3

⑥ 12×8

()

- (2) 上でえらんだ けいさんのとき方を、かけ算①の (2) と同じように、ことばで説明してみましょう。

× の計算は、
を と に分けました。
それから、
合わせて、

× の計算は、
を と に分けました。
それから、
合わせて、

学 年

3年

かけ算 (2) ②

- 1 (1) かけ算①のプリントの問題のように、繰り上がりのない計算になる問題は、次のうちどれでしょう。当てはまる計算の番号をすべて () の中に書きましょう。

① 21×4

② 34×3

③ 14×2

④ 15×2

⑤ 41×3

⑥ 12×8

(①、③)

- (2) 上でえらんだ 計算のとき方を、かけ算①の (2) と同じように、ことばで説明してみましょう。

21×4 の計算は、

21 を 20 と 1 に分けました。

それから、 20 に 4 をかけて、 80 。

1 に 4 をかけて、 4 。

合わせて、 84 になります。

14×2 の計算は、

14 を 10 と 4 に分けました。

それから、 10 に 2 をかけて、 20 。

4 に 2 をかけて、 8 。

合わせて、 28 になります。

学 年

3年

かけ算 (2) ③

年 組 氏名

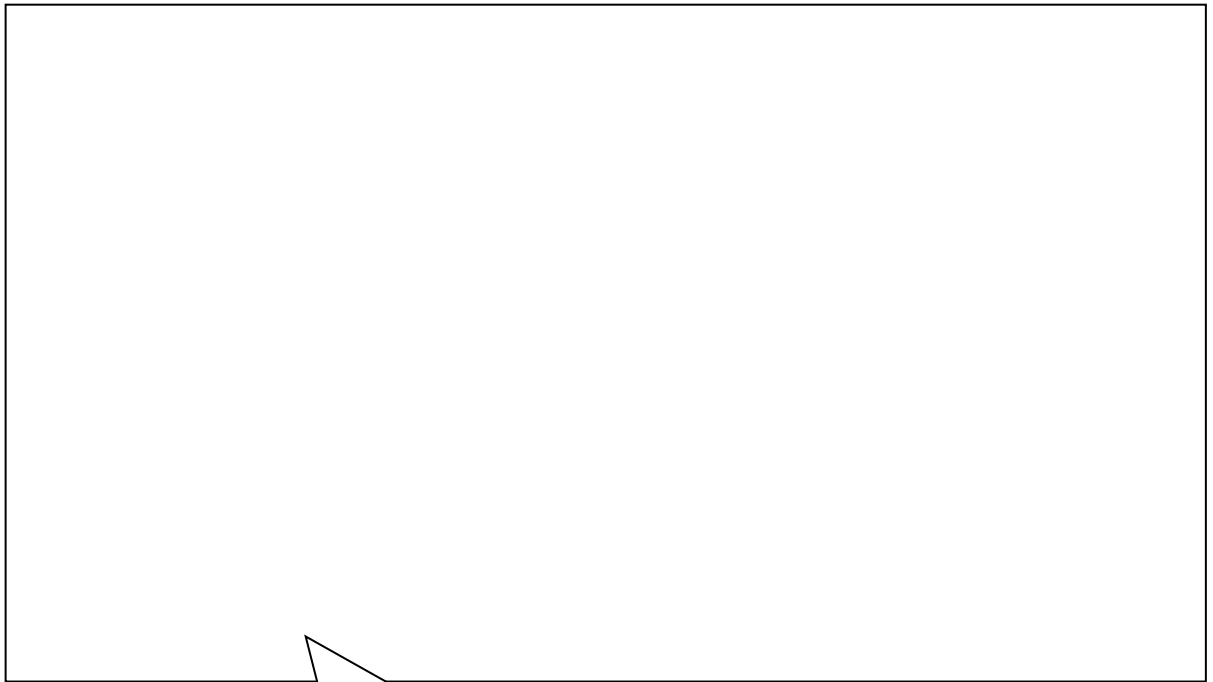
- 1 1こ321円のケーキを3こ買います。代金は何円になりますか。

式、答え、解き方の説明をかきましょう。

(式)

(答え)

(とき方)



かけ算①、②のプリントを見てみよう！
ほかの方法は？
なに算でできるかな？

学 年

3年

かけ算 (2) ③

- 1 1こ321円のケーキを3こ買います。代金は何円になりますか。

式、答え、解き方の説明をかきましょう。

(式) $321 \times 3 = 963$

(答え) 963円

(とき方)

(解答例①) 321を300と20と1に分ける。

それぞれの位に、3をかける。

百の位 300に3をかけて、900。

十の位 20に3をかけて、60。

一の位 1に3をかけて、3。

合わせて、963になる。

(解答例②)

[筆算]

	3	2	1
×			3
	9	6	3

合わせる時、 $300+60+3$ でも、 $3+60+900$ でも、どちらのじゅんばんでもできるね。

(解答例③)

[たし算]

$$321 + 321 + 321 = 963$$

絵をかいて説明することもできます。

学 年

3年

かけ算 (2) ④

年 組 氏名

- 1 次の筆算の計算の仕方を説明しましょう。

(説明)

(ひっ算)

	1	7	3
×			8

〔ポイント〕

かけ算①～③の説明のように、一の位からじゅんに、位をわけて考えてみましょう。また、上の位から考えてみるもいいですよ。

学 年

3年

かけ算 (2) ④

1 次の筆算の計算の仕方を説明しましょう。

(説明)

(ひっ算)

(解答例1)

一の位から計算する。

$$3 \times 8 = 24。$$

十の位へ10が2くりあがる。

一の位は4。

次に十の位の計算をする。

$$7 \times 8 = 56。$$

くりあがった2をたすと $56 + 2 = 58$ 。

百の位へ100が5くりあがる。十の位は8。

それから百の位の計算をする。

$$1 \times 8 = 8。$$

くりあがった5をたすと $8 + 5 = 13$ 。

千の位へ1000が1くりあがる。百の位は3。

千の位はくりあがった1。

$$\underline{\text{答え}} \quad 1384$$

	1	7	3
×			8
		5	2
1	3	8	4

○ くり上がりが3回もあります！

気をつけよう！

(説明)

(解答例2)

～上の位からかんがえてみると…～

1は、100が1つで100のこと、

それが8こ分だから800。

7は10が7つで70のことで、

それが8こ分だから560

3は1が3つで、3のこと、

それが8こぶんで、24。

合わせて、1384

答え 1384

	1	7	3	
×			8	
<hr/>				
	8	0	0	
	5	6	0	
		2	4	
<hr/>				
¹	1	3	8	4